

## 民主主義の力で難局を乗り越え、未来へ



衆議院議長

細田 博之

令和3年10月の衆議院議員総選挙を経て、第206回国会において、私は各会派のご推挙により、第78代衆議院議長に就任いたしました。誠に光栄に存じますとともに、その職責の重大さを痛感いたしております。日本国憲法の理念の下、国会が国民の期待と信頼に応え、国権の最高機関としての役割を果たすべく、議長として最善の努力を致す所存です。

令和3年の国会では、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策が最重要課題となり、感染拡大防止の在り方や医療提供体制への懸念、ワクチンの確保や接種計画の加速化、雇用や生活、事業の維持のための支援策など幅広いテーマが議論され、新型インフルエンザ対策特措法改正案をはじめとする関係法案や予算が成立しました。また、これらと並行して、税制、医療保険、デジタル改革、地球温暖化対策、憲法改正手続などの課題についても議論を深め、必要な立法を行いました。国際情勢については、ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し、民主的な政治体制の早期回復を求めることを決議いたしました。

世界各国で新型コロナウイルス感染症の猛威が続き、我が国も社会経済の在り方を模索してきましたが、令和3年夏、東京オリンピック・パラリンピックが、原則無観客という制限はありつつも開催されました。これは我が国として誇れることでもあります。国際社会における我が国の役割が注目される中、世界そして我が国の未来をどうすべきか、私たち国会議員は国民の声を感じながら議論し、決定を行っていくことで、難局を乗り越え、未来を切り拓くことに力を尽くしてまいります。

この「衆議院の動き」は、令和3年の国会の主な動き、衆議院の本会議、委員会の概況などについて取りまとめたものです。本誌を通じて、国会の活動に理解を深めていただければ幸いです。今後も、国民に「開かれた」「分かりやすい」国会を目指して情報を提供してまいります。皆さまの忌憚のない御意見をお寄せください。